

令和5年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進の取組み

1.在宅医療・介護連携推進事業

- (1)在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知を行う事業
- (2)地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う事業
- (3)在宅医療・介護連携に関する地域住民の理解を深めるための普及啓発を行う事業
- (4)医療・介護関係者間の情報の共有を支援する事業、医療・介護関係者に対して、在宅医療・介護連携に必要な知識の習得及び当該知識の向上のために必要な研修を行う事業その他の地域の実情に応じて医療・介護関係者を支援する事業

2.場面に応じた支援

切れ目のない在宅医療と介護の連携体制を構築するためには、ライフサイクルの中で起こりうる節目となる場面を意識した取組が必要であり、さらにこれらを取り巻く環境にも着目する必要がある。



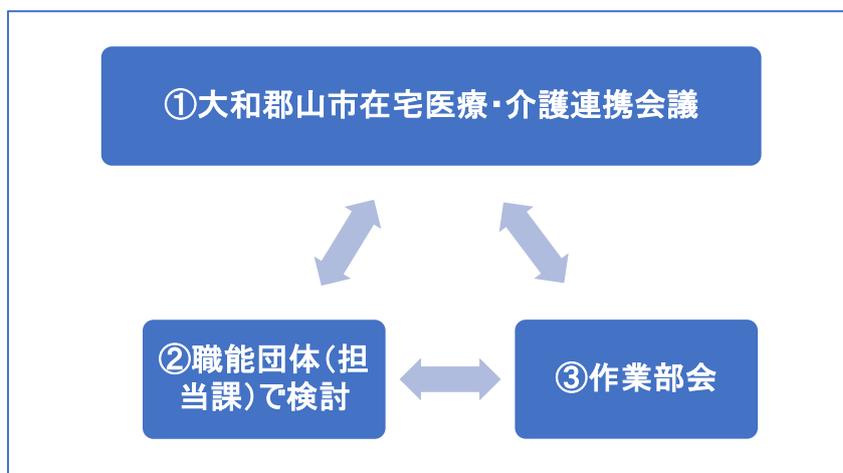
3.検討の場

①在宅医療・介護連携推進の
課題・方向性を検討する

②会議で検討したことや課題を
団体に持ち帰る



情報共有・具体的な取り組みの
検討と実施



【職能団体(担当課)】

大和郡山市医師会・大和郡山市歯科医師会・大和郡山市薬剤師会・大和郡山市訪問看護事業者連絡会・大和郡山市リハビリテーション連絡協議会・大和郡山市地域医療連携担当者連絡会・大和郡山市在宅医療介護支援センター・大和郡山市居宅介護支援事業者連絡会・大和郡山市地域包括支援センター・大和郡山市福介護福祉課・大和郡山市保健センター・大和郡山市地域包括ケア推進課(事務局)

③具体的な取り組みを検討・実践する各種作業部会

会議名		協議事項
在宅医療・介護連携 推進会議		大和郡山市の在宅医療・介護連携推進に係ることについて協議する。また、下記作業部会(A～E)の進行管理と、今後検討が必要な課題や取り組みについて検討する。
部会 A	顔の見える関係	職能の相互理解を深め、多職種連携の充実を図るため、事例検討や研修会などの共同開催や講師派遣を通じた交流を図る。
部会 B	情報連携ツール	患者(利用者)を介して繋がる多職種同士が効果的な情報共有の方法について検討する。また、連携に関する実態把握と課題について検討する。
部会 C	在宅・病院連携	在宅から病院、病院から在宅へのシームレスな医療と介護の支援が行えるよう在宅医療・介護関係者と病院関係者が、平時・入院時・退院時に行う連携について必要なルールを検討し運用する。
部会 D	認知症高齢者支援	認知症高齢者等が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、本人主体を基本とした医療と介護の支援体制の構築について協議する。
部会 E	看取りの支援	看取りにおいて本人や家族の意思を尊重した様々な支援を行うために、看取りについての課題の共有と取り組みについて検討する。
部会 F	急変時の支援	一人暮らし高齢者等の急変時に係る対応について、課題の共有と取り組みについて検討する。
その他		・医療と介護の相談窓口担当者連絡会

4.各種会議の実績

年度	項目	推進会議	部会A	部会B	部会C	部会D	部会E	部会F
R5	実施回数(回)	2		1	1	1	2	1
	参加団体数(団体)	11		11	10	11	14	7
	延べ参加者数(人)	53		23	47	25	52	27
R4	実施回数(回)	1		1	1	1	1	
	参加団体数(団体)	11		9	10	10	11	
	延べ参加者数(人)	28		19	50	30	26	
R3	実施回数(回)	2		1	1	1	1	
	参加団体数(団体)	11		8	9	10	11	
	延べ参加者数(人)	49		19	52	26	27	
R2	実施回数(回)	2		1	1	1		
	参加団体数(団体)	12		10	10	11		
	延べ参加者数(人)	55		23	40	28		
R1	実施回数(回)	2	1	2		1	2	1
	参加団体数(団体)	12	10	10		9	12	8
	延べ参加者数(人)	57	25	95		23	98	18
H30	実施回数(回)	2	1	1	7	1		
	参加団体数(団体)	11	9	9	10	12		
	延べ参加者数(人)	56	22	23	319	27		
H29	実施回数(回)	2	3	2	6			
	参加団体数(団体)	10	8	8	9			
	延べ参加者数(人)	49	50	30	358			
H28	実施回数(回)	2						
	参加団体数(団体)	8						
	延べ参加者数(人)	44						



社会福祉協議会 HP より



2023.6.12 一人暮らし高齢者等の緊急連絡先等の共有に関する情報交換会(部会F)

5.令和 5 年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進事業の実施状況

部会名		内容	日時	参加団体	参加者
在宅医療・介護連携推進会議①		令和 4 年度在宅医療・介護連携推進事業、大和郡山市在宅医療介護支援センターの取り組み報告と令和 5 年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進事業計画	R5.4.24 14:00-15:10	11	25 人
在宅医療・介護連携推進会議②		・令和 5 年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進事業の取り組み ・在宅医療・介護連携推進事業の評価(第 8 期介護保険事業計画)と課題(第 9 期計画)	R5.10.6 13:30-15:15	11	28 人
部会 A	顔の見える関係づくり	・R5.7 「アルコール問題を抱える当事者やその家族の生きづらさの理解」 ・R5.11~12 「多職種連携のための事例検討会」 ・R6.12 「ケアマネジャーの離職を防止するためハラスメントやその対応等について学ぶ」 ・R6.2 「在宅医療・救急医療等の 連携にかかる オンライン セミナー(厚労省)」	随時	-	-
部会 B	情報連携ツール	・第 9 期介護保険事業計画介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告 ・令和 5 年度在宅医療・介護関係者の連携に関する調査の項目の検討	R5.6.5 14:00-15:20	11	23 人
部会 C	在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携	・在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携実態調査報告(情報連携ツール・入退院調整などの現状について) ・GW「在宅医療・介護連携推進のために取り組むこと」	R6.129 13:30-15:20	10	47 人
部会 D	認知症高齢者等への支援	・9 期介護保険事業計画介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告(認知症) ・認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援、若年性認知症の支援	R5.8.17 13:30-15:30	11	25 人
部会 E	看取りの支援	・9 期介護保険事業計画介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告(ACP) ・わたしノート改訂、もしバナゲーム、ACP 劇とシンポジウムについて	R5.7.10 13:30-15:30	11	28 人
	わたしノート改訂合同会議	・「わたしノート」全面改訂のための検討を行ってた会議体(在宅医療・介護連携会議・認知症高齢者等の見守り連絡会)の代表者が看取りや権利擁護支援の現状に対応した市民に分かりやすい「わたしノート」の完成を目指す。	R5.9.8 13:30-15:30	6	24 人
部会 F	一人暮らし高齢者等の緊急連絡先等の共有に関する情報交換会	医療・介護・福祉・救急・警察・行政などの関係者が、緊急連絡カード配付事業(社協)について、情報更新を含む運用の見直しや事業周知などの課題を検討。(令和 5 年 12 月より緊とつとボトルの運用開始)	R5.6.12 13:30-15:30	7	27 人
その他	医療と介護の相談窓口担当者連絡会	在宅医療介護支援センターと地域包括支援センターによる情報交換会	R6.2.16 13:30-14:15	3	3 人

計 9 回 (延べ)230 人

6.その他

(1) 令和5年度権利擁護講演会(R5.10.20 13:30-16:00、DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール)

参加者数:272人(内、市外35人)

テーマ「「私らしく生きるために考えてみませんか」～人生会議(ACP)を始めよう～」

第1部

- ① 動画上映: 人生会議劇動画「大和家は今日も晴天なり」
- ② 講演: 「もしもの前に話し合いたいこと」～私と私の大切な人のために～
講師: 加納 麻子 氏(社会医療法人平和会 吉田病院 地域緩和ケアサポートきずな)

第2部

- ① シンポジウム: 「私らしく生きるために考えてみませんか」
座長: 加納 麻子 氏
シンポジスト: 松本光弘 氏(大和郡山市医師会)
塚本 邦子 氏(大和郡山市訪問看護事業者連絡会)
仲谷 尚起 氏(大和郡山市薬剤師会)
白戸玲人 氏(大和郡山市居宅介護事業者連絡会)



② わたしノート(概要版)について

**年に1度は
わたしノート
を書こう!
(わたしのこと)**

11月30日は、「人生会議の日」です。
家族や友人、大切な人とこれからのことについて考え、記録に残しておくことが大切です。

「わたしノート」とは、突発的な事故や病気などで自分のことを自分で決められなくなった時のために、これからやってみたいことや大切にしたいことをあらかじめ記入しておくノートです。

市ホームページで「わたしノート」を検索すると、本様式をダウンロードすることができます。



これからやりたい5つのこと

📅 5年後、10年後までにチャレンジしてみたいことについて考えてみましょう。

	達成日	内容	誰と	具体的に
例	R5.8/8	北海道旅行	子どもと孫	2泊3日で飛行機に乗って、おいしいものを食べに行きたい。
1				
2				
3				

名前 _____

**年に1度は
わたしノート
を書こう!
(医療と介護)**

将来、療養生活が必要になったときに、緊急時の対応について不安に思ったことはありませんか？
もしものときに備えて、日頃から自分の健康状態や利用している医療・介護サービスなどを周囲の人に知らせておくことが大切です。

「わたしノート」とは、突発的な事故や病気などで自分のことを自分で決められなくなった時のために、受けたい医療や療養中の暮らし方について、あらかじめ記入しておくノートです。

市ホームページで「わたしノート」を検索すると、本様式をダウンロードすることができます。



医療のこと(かかりつけの医療機関や薬局など)

医療機関名	診療科名	病名
いつも飲んでいる薬、「お薬手帳」の置き場所など		

(2)わたしノート(改訂版)作成・概要版の全戸配布(広報令和5年11月15日号、12月15日号)



わたしの歴史

歩んできた人生を振り返り、自分自身を褒めてみましょう。また、自慢したいこと、誇れることなども是非教えてください。写真を貼り付け、「わたしのアルバム」を作成しても良いですね。

子どもの頃・学生時代 例) 生まれた場所・通学した小・中・高等学校・勉強や部活、学生時代に熱中したことなど

医療についての希望

●病名や余命の告知について

*あなたの希望に近い選択肢の数字に○をしましょう。

病名や余命の告知について	記入日		
	年 月 日	年 月 日	年 月 日
1 希望する	1	1	1
2 希望しない	2	2	2
3 家族等の判断に任せる	3	3	3
4 その他の希望(下記に具体的に記入)	4	4	4

介護についての希望

*あなたの希望に近い数字を右記の□に記入しましょう。

誰に、介護されたいですか？	記入日		
	年 月 日	年 月 日	年 月 日
①家族 ②介護サービス ③家族等の判断に任せる ④その他()			
どこで、介護を受けたいですか？			
①自宅 ②施設 ③家族等の判断に任せる			
自宅に住むことができなくなったら、どうしますか？			
①家族の家 ②施設 ③家族等の判断に任せる			
介護費用の支払いは、どうしようと思っていますか？			
①年金から ②貯金から ③保険から			

葬儀のこと

記入日: 年 月 日

●葬儀の場所・規模 ※チェック☑を入れてください。

しなくてもよい(直葬) お任せする 希望がある

名称・場所・規模(出席者)・宗派等